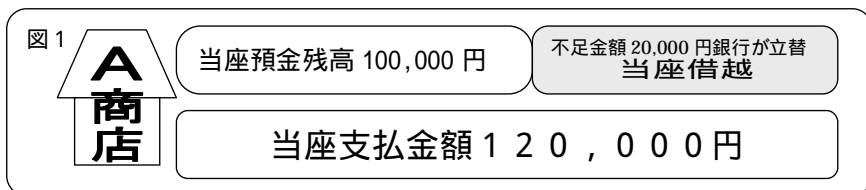


本科講座 10 | 仕訳（当座借越）

ねらい 当座借越の仕訳をマスターする。値引き、返品仕訳をマスターする。

【当座借越】

当座借越とは、当座預金残高を越えて小切手を振り出すことです。図1のように、A商店は当座預金残高が100,000円あったとしましょう。この場合、A商店は100,000円までなら、小切手を振り出しても問題はありません。ところが、100,000円を越えた小切手を振り出すと、当座預金残高がないので、引落とすことが出来ません。しかし、A商店が銀行と当座借越契約を結んでいると、不足分の金額を銀行が建替えて支払ってくれるのです。（つまり20,000円銀行から借入れていることとなります。）



当座借越の仕訳の方法は 2勘定制と 1勘定制の2通りあります。2勘定制とは、当座預金残高を越えて引き出した額については、当座預金勘定とは別に当座借越勘定を使う方法です。また、1勘定制では、当座関連の勘定科目を全て当座勘定として取り扱う方法です。この方法では通常の預金としての科目も当座勘定になりますので、当座勘定に資産と負債の両方の意味を持つこととなります。

例1 A商店では買掛金の支払いとして小切手120,000円を振り出した。なお当座預金残高は100,000円であり、取引銀行とは当座借越契約を結んでいるものとする。

2勘定制での仕訳

(借方) 買掛金 120,000 (貸方) 当座預金 100,000
当座借越 20,000

1勘定制での仕訳

(借方) 買掛金 120,000 (貸方) 当座 120,000

当座借越を行っている場合に、当座預金に入金があると、先に当座借越分の残額を相殺する処理を行います。2勘定制では、当座借越残高を相殺した残りを当座預金にしますが、1勘定制では、全て当座勘定で処理しますので、簡単です。

例2 上記例1の後、当座預金に現金50,000円入金した。

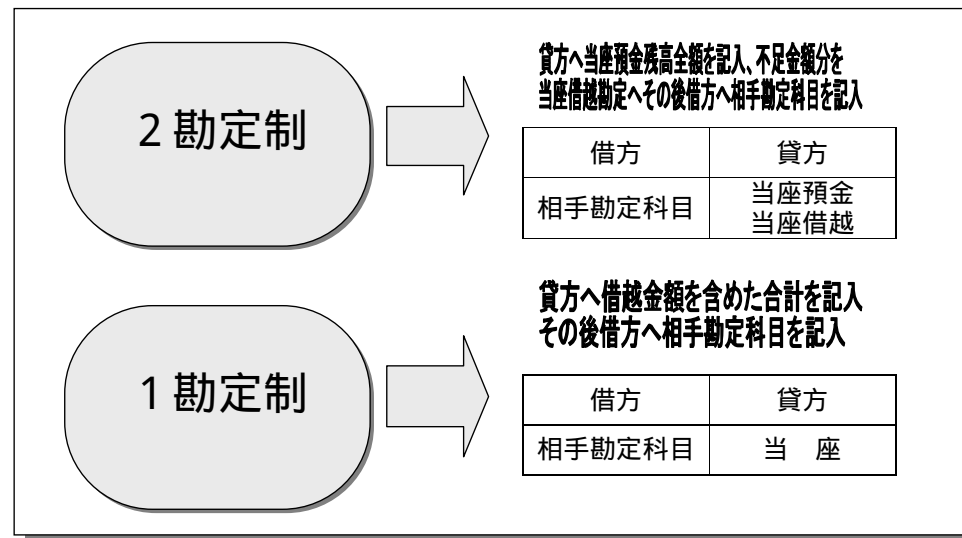
2勘定制での仕訳

(借方) 当座借越 20,000 (貸方) 現金 50,000
当座預金 30,000

1勘定制での仕訳

(借方) 当座 50,000 (貸方) 現金 50,000

当座借越の仕訳



当座借越時の当座への入金

